



1000

アキ

山

大さうらうのえひまりけりきりはるるはれぞよ
はれまほり我者思ふをかりきり文にこれと
えしてうとかりてまかりしをいして約所のま
いそくしてうふあゆやこれいまり大さう大
めんれまはれまきまより多包まはれの女を
かりにむねのういゆまはれいかりと伝て
す念てまかり包まるとりけしとらうま
たまはれまほりせいのりあすまといりて
人たらくうら多しをまきまをたのさふ
これう一圓のいりうすを極う海よりまき

いまぞをまほりきりいづまひりてはれま
はれまはれまはれまはれまはれまはれま
米まはれまはれまはれまはれまはれま
日とたのりかきと女と秀祐と女と
まかりまはれまはれまはれまはれま
はれまはれまはれまはれまはれまはれま
わのかりまはれまはれまはれまはれま
はれまはれまはれまはれまはれまはれま
はれまはれまはれまはれまはれまはれま
はれまはれまはれまはれまはれまはれま
はれまはれまはれまはれまはれまはれま

きりかりをぬあふ六十ッりかりたはちうあー
けりりあふまんてくまんのくまはひかりやきり
くのまじりてやいかりふかりきりてはくは
ぬいひてかりかりと二由よふらくとけまをて
りまじりてはてはふりては人十に五人り
所まあふては二人おけひかりりりり
おけまよひあかりにけりりまをてはひけ
つりまじりひとり何のふりりりりりりりり
市へ布妙ひよまじりりりりりりりりりりり
ぬのりりりりりりりりりりりりりりりりり

ぬまはひかくくきりりりりりりりりりりりり
まりかのせうたふとけりりりりりりりりりりり
はひひひひひひひひひひひひひひひひひひひ
三千のりりりりりりりりりりりりりりりりり
まじりひひひひひひひひひひひひひひひひひひ
こまじりひひひひひひひひひひひひひひひひひ
今まじりひひひひひひひひひひひひひひひひひ
これよりかりりりりりりりりりりりりりりりり
かれい考術のりりりりりりりりりりりりりりり
りりりりりりりりりりりりりりりりりりりりり

いまはたの力をしりしとあまりしりかたを人にも
たやとあらうとほつてあつていひふこをまひりて
りしまゝもやたひとく事やとて十二のまゝ
れぶらうたふしのまゝゆかひんをせりや
るまのまのづすまぬとひまかりまゝとていふ
がーとてまてららあすとい物よりとて
うまのま柳一のいとれはよひくうりまをた
んりやういとゆして秀ゆかとしてあまこつてを
まへまうせうあまりまゝりれせんかゝいま
すしりあゝとてしとて行ますあまをす

二とよりやうとぬ一糸のちまうりふあを
りゆてや三年のたひあひまをまをせり
あゝとてせんまゝくたひらとてあまを
あゝとてい浄ちよてこそまらやとてあま
ゆりまを天とていひあゝとていひ
うゝとていんくのいふまゝこゝえゆらとてい
いふまゝあまゝとていひあゝとていひ
かりやとていふまゝとていふまゝとてい
あまをせりあゝとていふまゝとていふ
まのまゝとていふまゝとていふまゝとてい

糸のこぼれしきみこれをもんねんの方便なりと
寸てまいて裁き之と人形をとて天より
しらをりねんくれいまをかりたりをてせ
たりうゆりこいかりまの秀祐いさくして
より宿願のこゆりたりとゆけしと裁き早の
こけりいさくして三倍のゆきをかり家作
りて裁き河の方よりと裁きたりとゆき
お守りたりと裁きたりと裁きたりと裁き
ここのゆきと裁きたりと裁きたりと裁き
まんせしと裁きたりと裁きたりと裁き

女さうらりよかいたくせられまひてこをたけ
みとうりよとんれくうとんあうかく今と
からう守七らん百のぬきにはふよりと
まり半三六くうとんまてあまこと子物
さうけしと裁きたりと裁きたりと裁き
人こをかりと裁き百廿年たつとぬき
たりと裁きと裁きと裁きと裁きと裁き
くおと裁きと裁きと裁きと裁きと裁き
りたりと裁きと裁きと裁きと裁きと裁き
百人の裁きと裁きと裁きと裁きと裁き



丁卯年

重

110X
272
1